

学校教育目標

郷土を愛し、心豊かでたくましく、主体的・創造的に生きる獅子島の子の育成

～キャッチフレーズ～ 青い海と緑の島で学び、未来を拓く獅子島の子

目指す子ども像

自主自律 (かしこく) 敬愛感謝 (やさしく) 継続錬磨 (たくましく)

目指す学校像

- 信頼と和で結ばれ、組織体として機能する学校 (まとまりのある学校)
- 環境が整備され、花と緑のきれいな学校 (美しい学校)
- 家庭や地域に信頼される開かれた学校 (開かれた学校)

目指す教師像

- 人間性豊かで信頼される教職員
- 子どものよさに気付き、協力して子どもの可能性を伸ばす教職員
- 教育公務員としての誇りと自覚をもち研修に励む教職員

学校経営の重点課題

- ① 離島の小規模小中一貫校という特性を生かした個が輝く、特色ある教育活動の推進
- ② 主体的に学ぶ態度と基礎学力の定着、家庭と連携した学習習慣及び読書習慣の確立
- ③ 「島立ち」を見据えた自己肯定感・自己有用感、コミュニケーション能力の育成 (キャリア教育の充実)
- ④ 健康や安全、体力に関心をもち、実践する態度を育てる体育指導や保健・安全指導の充実
- ⑤ コミュニティ・スクールを基盤とした地域とともに歩む学校づくり～地域資源の活用
- ⑥ 業務の簡素化や効率化による業務改善の推進～教職員の80%が業務改善進行の実感

「島立ち」(社会的自立)に向けて

獅子島で育った「誇り」と「感謝」、「自信」と「やる気」(自己肯定感・自己有用感)「思いやりの心」と「コミュニケーション能力」(社会性)の醸成・育成

確かな学力【自主自律(かしこく)】

《重点実践事項》

主体的・対話的で深い学びへの授業転換

- 1 小中教諭による乗り入れ授業の充実 ⇒ 全児童・生徒を全職員で!
- 2 複式少人数指導法の工夫・改善 ⇒ 授業づくり3ポイントの徹底
 - (1) 目標の明確化 (めあての板書100%)
 - (2) 子どもが主役となる学び (書く活動⇒対話活動による繰り返し20分確保)
 - (3) ラスト10分の充実 (子どもによるまとめ、類似問題など)
- 3 ICT機器の積極的・効果的活用 (タブレットの日常的な活用)

9か年を見据えた個々の確かな学力向上(どの子もプラスに!)

- 1 個別指導の充実⇒確実な見届けと補充指導 (1単位時間:1人1回以上声掛け)
- 2 9か年を見通した確かな学力の定着 ⇒ 学力定着状況個人カルテの活用 (どの子もプラスに!)
 - ・ 諸学力検査結果分析⇒指導法の改善
- 3 特別支援教育の充実
 - (1) 支援体制の確立と支援方法の工夫・改善
 - ・ 困り感に応じた支援の工夫
 - (2) 校内委員会等の充実と関係機関との連携
 - ・ SC・SSWの活用、療育との連携

豊かな心【敬愛感謝(やさしく)】

《重点実践事項》

異年齢交流による心の教育の推進(自己肯定感・自己有用感の育成)

- 1 ひまわり週間(年5回)を中心とした人権同和教育の推進
 - ・ 人権学習・みんなで遊ぶ日等の実践
- 2 縦割り班・ブロック別活動の充実
 - (1) 清掃活動、集会活動、栽培緑化活動、交流給食の工夫・改善
 - (2) 道徳科授業の完全実施 (35時間)と授業参観時の道徳授業(年1回)

小中一貫して取り組む特色ある教育活動の充実

- 1 総合的な学習の時間の充実
 - (1) 交流活動・ふるさと学習の推進
 - ・ サツマイモ・ジャガイモの栽培(幼・小中)
 - ・ 獅子島一周遠行・つり大会・郷料理教室(中)
 - ・ ひょうたん鳥活動・オサ・ミカン収穫体験(小)
 - ・ 獅子島太鼓(小中)・造形展作品制作(小中)
 - ※ 地域人材や素材活用(昨年+1回)
 - (2) 計画的な探究活動の推進
 - ・ ブロック別朝会での発表(全員)
- 2 幼小中の一貫性を生かした基本的生活習慣の指導の充実 (生活のきまり・校則等の継続指導)
- 3 家庭と連携を図った読書活動の推進
 - ・ 日標読書冊数の達成 (8割)

たくましい体【継続錬磨(たくましく)】

《重点実践事項》

体力向上のための環境整備(日常の体力づくりや自主的な健康管理の推進)

- 1 一校一運動(縄跳び、ランニング)を中心とした体力づくり・運動遊びの推進
 - ・ 「体力アップ!チャレンジがごしま」への積極的な取組
- 2 体力テスト結果に基づく体力・気力づくりの推進⇒個人カルテの活用 (記録向上100%)
- 3 部活動(中)の推進

自主的・主体的で、発達段階に応じた健康・安全教育の推進

- 1 定期的容儀指導(週1回)の実施と性に関する指導の完全実施 (各学年2時間)
- 2 危険予知能力の育成に向けた自然災害や火災、不審者対応を想定した避難訓練の実施 (学年のレベル差や地域との連携を考慮した防災訓練)
- 3 施設設備の安全管理の徹底⇒事故0, 安全点検後の改善1週間以内
- 4 正しい食生活習慣形成と食事作法の定着⇒毎月「食育の日」における交流給食実施

【家庭との連携】

- 1 家庭学習の習慣化 (小) 学年×15分, (中) 2時間
- 2 家庭と連携した読書活動の推進
 - ・ 音読 (毎日), 読書日標冊数 (昨年度+5冊)
- 3 自己肯定感を高める親子のふれあい(傾聴:1日1回)
- 4 運動遊びを通じた親子のふれあい(週1回)
- 5 「早寝・早起き・朝ご飯」の実践 (90%以上)

【地域連携・貢献】

- 1 コミュニティ・スクールによる4つの支援(教育活動・安全見守り・環境整備・健全育成)
 - ・ 学校支援ボランティアの積極的活用 (学期1回)
- 2 地域活動への積極的参加 (参加率100%)
 - ・ 獅子島太鼓による地域行事への参加 (一撥人魂)
- 3 コミュニティ・スクール制度を活用した地域支援の充実 (地域行事への積極的な参加や学校支援ボランティアの活用に向けた三者連携)

家庭との連携(心も体も安らぐ家庭)

地域との連携(地域は学びのステージ)